

群馬大学工業会・東海連合支部

歴史を訪ねる会⑨ 神戸市にて

五色塚古墳と神戸ベイクルーズ

歴史を訪ねる会⑧・中津川宿 2019 11-03(祝) ~ 休止しておりましたが、3年ぶりに復活させ、⑨ 五色塚古墳 見学 と 神戸ベイクルーズ 2022 11-29(火) として実施できました。以下 報告いたします。

5 / 6 次の写真 >

2022 11-29(火) JR 山陽本線「垂水」駅 西口BTに、雨天のなか参加者4名が集合し、市バスに乗り込み 二つ先のバス停へ向かう。五色塚古墳 西側の受付では、小学生の団体が二班に分かれて入場中であった。

五色塚古墳 は、兵庫県神戸市垂水区五色山 にある古墳。形状は前方後円墳。4世紀後半に、畿内周辺で大型古墳の築造が盛んとなり、これらは、陵山(みささぎやま)古墳 墳丘長 207m 後円部高さ 20m と 相似形の古墳 群、と呼ばれる：

「佐紀陵山型」前方後円墳、には 膳所茶臼山古墳(滋賀県)・御墓山古墳(三重県)・摩湯山古墳(大阪府)・五色塚古墳(兵庫県) 墳丘長 194m 後円部高さ 19m が 主なものである。

5世紀に入ると、いっそう大きなものが築造されるようになり、例えば、(伝)仁徳天皇陵古墳(堺市堺区大仙町) ……5世紀中ごろに築造 か



12時半頃、駅高架下で遅い昼食をとる。JR 垂水駅から 東へ 13km 戻り JR 神戸駅 下車、神戸港中突堤 へ歩く。

13:45 出港の ロイヤルプリンセス号（乗員500名）に乗る。40分間のクルーズである。

中突堤 → 貨物船埠頭 → 川崎重工 → 三菱重工 ⇒（左折）⇒ 防波堤東灯台 ⇒（左折）⇒ 空港島 → ポートアイランド → 神戸大橋 ⇒ 左折⇒ ホテルオークラ・ポートタワー → 中突堤
川崎重工の浮きドックに わさび田のような紗幕 が掛けられてるが、先月の新聞報道によると、幕の奥には 潜水艦「はくげい」（22/10/14進水式 23年3月就役予定、30隻めの海自就役）、があるらしい。



三菱重工内の浮きドックにも、青色の紗幕 が掛けられている。こちらは、23年度 就役予定、31隻めの海上自衛隊 潜水艦 であろう。 定期検査のためか 左方に、2隻もの潜水艦が係留されている。



中突堤 降船後、クルーズ船(双胴船)の前で

JR 神戸駅への帰路途上、イオンモール u m i e 内のカフェにて、暫し休憩する。

(報告者は常々、五色塚古墳 の後円部頂上が、明石海峡大橋を望む 絶好の展望台である と感じています。)

明石海峡大橋 :

- ・ 1995 年 1 月 17 日 - 兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災) に罹災したにも関わらず、予定通り 1998 年 4 月 5 日に供用が開始された。建設費は約 5,000 億円
- ・ 全長 3,911 m、中央支塔間 1,991 m で世界最長の吊橋であった。(開 業 ~ 2022 年 3 月 18 日まで)。
- ・ 1 本のケーブルの直径は 112.2 cm になり、約 6 万トンの荷重を支える。風雨から保護し、腐食 (錆び) を防止するため、表面をフッ素樹脂で覆っている。

阿部桂三さんが 三菱油化(株) 在職中に、この被覆材を開発し 採用されている。

JR 神戸駅近くのカフェにて、その研究開発の過程 をお話しいただいた。受講者 3 名共、偶然 化学専攻であった事もあり、感銘を受けました。

雨時々曇りの天候でしたが、幸運にも 集合写真を撮るチャンスが多く有った。16 時 JR 神戸駅改札前で散会となりました。



左から 阿部桂三 46S修、阿部雅信 47C修、池原48C修、松永47C

(阿部 雅 47C 修 記)